

# 社 会 (歷史的分野)

社会の目標について
<p><b>【教科の目標】</b></p> <p>第1 目標</p> <p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
<p><b>【学年・分野・領域等の目標など】</b></p> <p>[歴史的分野]</p> <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。</p>

**【参考】**

## ○ 目標の改善

小学校社会科及び高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

## ○ 標準授業時数 135単位時間

様式 2

観 点 番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・705	新しい社会 歴史
取 扱 内 容  学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号についてのまとめや年表の読み取りから年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動</li> <li>・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、福岡や福井の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマ設定などの調査方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</li> <li>・「古代までの日本」において、奈良時代では律令国家の形成に着目して、貴族と一般の人々の生活に違いが生じた理由を考察したり、単元のまとめでは「古代日本のキーパーソンは誰だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政治の成立の影響に着目して、平安時代の仏像と特徴を比較して違いを考察したり、単元のまとめでは「古代との比較から中世の特色を探ろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近世の日本」において、織田・豊臣の統一事業に着目して、戦国時代を終わらせた最も重要な政策を考察したり、単元のまとめでは「近世で最も活躍した身分はどれだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、政府のアイヌ民族と琉球民族への対応の相違点を考察したり、単元のまとめでは「日本と世界との結びつきを考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、日本復興の象徴となる出来事を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本を形作ったものは何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、応仁の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、戦いの様子を描いた複数の時代の資料を比較し、社会の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「歴史へのとびら」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載して、その行程を紹介したり、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や神話、生活の様子などの資料を掲載して、13世紀以降のアイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに基礎事項を確認する活動や、「トライ」で、要約や説明により学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・706	中学社会 歴史 未来をひらく
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容	○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化遺産に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、時代区分、年号についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、名古屋や川崎の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代では中央集権国家の仕組みに着目して、中央と地方の関係を考察したり、単元のまとめでは「日本という国がどのように成立し、発展していったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「古代と比較し、中世はどのような時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、元禄・化政文化の形成に着目して、共通点や時代背景の違いを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代と前の時代を比較して、近世の特色を説明してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、議会政治の展開に着目して、明治政府と民権派の考え方の違いを考察したり、単元のまとめでは「日本が近代化に成功した理由について考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、国際社会における我が国の役割に着目して、平和な世界を築くための取組を考察したり、単元のまとめでは「日本が国際的地位を向上させた要因を説明しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、鎌倉時代の人々の暮らしの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。  ○ 内容の構成・排列については、「歴史の流れをとらえよう」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 江戸時代に函館に来航したペリー艦隊の航路や函館の来航記念碑の写真を掲載して、函館寄港の際のエピソードを紹介したり、アイヌの人たちの言葉や文化について、神話の資料を掲載して、現在までアイヌ文化を伝えてきた人々の努力を説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。  ○ 「確認」で、一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動や、「表現」で、学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。  ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		46・帝国	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・707	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号についての資料やそれらを示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動</li> <li>・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、博多や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、情報の集め方などについて示した「技能をみがく」のコラムから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</li> <li>・「古代までの日本」において、奈良時代では東アジアとの接触や交流に着目して、仏教の伝来とその影響を考察したり、単元のまとめでは「古代の国が成立するために重要なことは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「中世の日本」において、室町時代では諸産業の発達に着目して、文化などの特徴を考察したり、単元のまとめでは「武士と庶民がそれぞれの結び付きを強めていった目的は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近世の日本」において、江戸時代では鎖国などの幕府の対外政策に着目して、幕府にとっての鎖国の利点を考察したり、単元のまとめでは「安定した政権が成立するために必要なことは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近代の日本と世界」において、明治時代の近代産業の発展に着目して、農村の人々の生活の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代化による、政治や社会の大きな変化とは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「現代の日本と世界」において、日本の高度経済成長に着目して、経済や産業、社会や国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本社会を形づくる画期となった出来事は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> </ul>			
		<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、元禄文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風に描かれた二つの装飾画から共通点を見いだして、文化の特色について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等		<p>○ 明治時代の札幌の地図や屯田兵村の写真、北海道の開拓と産業の発展に係る資料を掲載して、北海道や札幌市の近代化の過程を説明したり、アイヌの人たちの生活や文化について、神話や衣食住などの資料を掲載して、独自の文化を築いたことについて説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「確認しよう」で、一単位時間の学習内容を振り返り、大切な事項を確認する活動や、「説明しよう」で、学習内容を自分の言葉で説明する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点 ／ 番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	81・山川	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・708	中学歴史 日本と世界
取 扱 内 容  〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容〕	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、時代区分、年号についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動</li> <li>・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、平泉や金沢の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法やレポートの作成方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</li> <li>・「古代までの日本」において、平安時代では東アジアとの接触や交流に着目して、文化の国風化を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「中世の日本」において、室町時代では武家政治の展開に着目して、幕府の仕組みや守護の役割の変化を考察したり、単元のまとめでは「宗教が大きな影響力をもった理由を考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近世の日本」において、江戸時代では産業や交通の発達に着目して、生産技術の向上や三都の発展を考察したり、単元のまとめでは「近世の日本の経済や社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「現代の日本と世界」において、日本国憲法の制定やそれに伴う法律の改正に着目して、日本の民主化の進展を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争に至る過程とその戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 明治時代の札幌の地図やクラークの資料を掲載し、開拓の歴史などから札幌について考える課題を位置付けたり、アイヌの人たちの歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載して、特徴を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「ステップアップ」で、一単位時間の終わりに新たな課題を追究する活動や、「歴史を考えよう」で、学んだことを基に考察する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点 番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・709	中学社会 歴史的分野
取 扱 内 容  学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動</li> <li>・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良や大阪の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、歴史の調べ方について示した「スキルUP」のコラムから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</li> <li>・「古代までの日本」において、奈良時代では古事記や日本書紀に着目して、当時の人々の信仰やものの見方を考察したり、単元のまとめでは「文字の変化に着目して、古代までの特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「中世の日本」において、室町時代では産業が発達していく過程に着目して、民衆の成長を背景とした文化の高まりを考察したり、単元のまとめでは「法に着目して、中世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、幕府の改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「幕府の収入に着目して、近世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近代の日本と世界」において、明治政府の富国強兵政策の目的に着目して、近代国家建設を急いだ理由を考察したり、単元のまとめでは「明治政府の政策から、近代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「現代の日本と世界」において、経済大国となった日本と諸外国との関係に着目して、世界に与える影響を考察したり、単元のまとめでは「復興と成長の源に着目して、現代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の資料から読み取ったことをもとに、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 北方領土に関する条約や北方領土付近の国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、第二次世界大戦後の日本の取組を説明したり、アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「確認」で、一単位時間の学習の理解を確認する活動や、「深めよう」で、学習課題の理解を深める活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点 番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	227・育鵬社	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・710	[最新] 新しい日本の歴史
取 扱 内 容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと歴史」において、歴史の流れと小学校で学んだ人物や出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、様々な時代区分についてのまとめから年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動</li> <li>・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、大阪や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、実際の調べ学習を例にした調査の流れから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</li> <li>・「古代までの日本」において、飛鳥時代では律令国家の確立に至る過程に着目して、聖徳太子が目指した政治を考察したり、単元のまとめでは「古代の日本と中国の関係がどう変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政権の成立や仕組みに着目して、古代の律令政治との違いを考察したり、単元のまとめでは「この時代の人々の暮らしや社会がどうなったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近世の日本」において、江戸幕府の諸政策の目的に着目して、幕府がどのように支配を固めたのかを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代の社会はどんな社会だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「近代の日本と世界」において、明治時代の外交の展開に着目して、国境が定められた経緯を考察したり、単元のまとめでは「この時代のできごとで最も重要と思うものは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> <li>・「現代の日本と世界」において、第二次世界大戦後の諸改革に着目して、日本の民主化と再建の過程を考察したり、単元のまとめでは「これからの日本はどんな社会になり何が問題になるのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li> </ul>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、江戸幕府による鎖国の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鎖国を肯定する視点と否定する視点を比較し、鎖国の影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「歴史探検！歴史の流れと先人の活躍」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 「お雇い外国人」の紹介として、北海道に縁のあるウィリアム・スミス・クラークを取り上げ、北海道の開拓にまつわるエピソードを示したり、アイヌの人たちが行っていた交易に関する資料を掲載して、アイヌの人たちと周辺諸国や地域との関係を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「歴史ビュー」で、本文の内容について多角的な視点から考察する活動や、「歴史のターニングポイント」で、各時代の出来事について意見を交換する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーバリアフリーに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、プレゼンテーション用のソフトを活用した発表方法を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等				
そ の 他				

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		229・学び舎	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・711	ともに学ぶ人間の歴史
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容、内容の構成・排列	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「私たちと歴史」において、歴史の流れを示した表と小学校で学んだ人物や出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動</li><li>・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、東京の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動</li><li>・「古代までの日本」において、弥生時代では稲作の広まりに着目して、暮らしや社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「人びとの生活や社会のようす、制度や文化はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li><li>・「中世の日本」において、室町時代では諸産業の発達に着目して、都市や農村の自治的な仕組みの成立を考察したり、単元のまとめでは「中世はどのような人びとが力をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li><li>・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、百姓一揆が起こった原因を考察したり、単元のまとめでは「中世との比較から近世・江戸時代の特色を考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li><li>・「近代の日本と世界」において、議会政治の始まりに着目して、自由民権運動の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代はどのような特色をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li><li>・「現代の日本と世界」において、サンフランシスコ講和会議の参加国に着目して、第二次世界大戦後の日本の国交の変化を考察したり、単元のまとめでは「時代の変化を絵に表してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動</li></ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、近世の統一事業の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、織田信長、豊秀吉臣、徳川家康が実施した政策と人々の生活への影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「歴史と出会う」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等		<p>○ 領土の画定に関する学習において、開拓使の設置や北海道への移住奨励に関する資料を掲載して、明治時代の北海道の開拓の進展について説明したり、江戸時代にアイヌの人々が採集した昆布の行方を課題として提示し、近隣諸国との交易について紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「フォーカス」で、歴史の舞台に焦点を当てて知識を深める活動や、「歴史を体験する」で、学習内容に関わる体験活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、ICTを活用した資料の検索方法を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他					

＜歴史的分野の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- |   |
|---|
| <p>① 大項目（「歴史との対話」「近世までの日本とアジア」「近現代の日本と世界」）ごとのページ数及び総ページ数</p> <p>② 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する歴史的事象）を取り上げているページ数及び箇所数</p> <p>（1）アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数</p> <p>（2）北方領土に関する内容を取り上げているページ数</p> <p>（3）道内の市町村等を取り上げている箇所数</p> <p>③ 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数</p> |
|---|

◎調査対象項目にした理由

- |   |
|---|
| <p>① 学習指導要領に示されている歴史的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、大項目ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。</p> <p>② 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう身近な地域の歴史などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。</p> <p>③ 自然災害における関係機関の役割等に関する教育の充実が求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。</p> |
|---|

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式5にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者							
				東書	教出	帝国	山川	日文	育鵬社	学び舎	
①	大項目ごとのページ数及び総ページ数	歴史との対話 (※2)	ページ数	26	27	13	22	23 (※2)	23 (※2)	8	
			全体に占める割合	9%	9%	4%	8%	7%	8%	3%	
		近世までの日本とアジア	ページ数	124	122	134	132	138	136	124	
			全体に占める割合	42%	41%	46%	46%	44%	45%	41%	
		近現代の日本と世界	ページ数	130	141	140	125	143	136	146	
			全体に占める割合	44%	47%	48%	43%	45%	45%	49%	
		その他	ページ数	15	8	5	9	16	12	21	
			全体に占める割合	5%	3%	2%	3%	5%	4%	7%	
		総ページ数			295	298	292	288	317	302	299
		前回の総ページ数			271	261	263	(※3)	274	277	290
		増減			9%	14%	11%		16%	9%	3%
②	北海道とかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数 (※1)	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数		18	18	19	8	15	8	17	
		北方領土に関する内容を取り上げているページ数		9	9	7	8	4	9	6	
		道内の市町村等を取り上げている箇所数		87	93	118	83	74	55	73	
③	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数			18	15	17	8	17	13	11	

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

- (※1) 調査項目②については、本文、脚注、写真、地図、年表などの箇所を対象とした。なお、「アイヌの人たちの歴史・文化等」及び「北方領土に関する内容」のページ数については、巻末資料等をページ数に含めている。
- (※2) 日文については巻頭のⅡ～Ⅳで、育鵬社については巻頭の①～⑥で「歴史との対話」を扱っていることを編集趣意書に記載しているため、それぞれページ数に含めている。そのため、大項目ごとのページ数の合計が総ページ数と一致しない。
- (※3) 山川については、今回は調査研究していないため、増減の比較を掲載していない。

様式 5

様式 4 の調査項目② [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	アイヌの人たちの歴史・文化等	東アジアとの交流 (P80)	地図	室町時代の主な交易路（アイヌ民族の交易）
		東アジアとの交流 (P81)	本文	アイヌ民族の交易活動 蝦夷地（北海道）では、アイヌ民族が狩りや漁、本州・樺太（サハリン）・ユーラシア大陸との交易を行っていました。
			写真	勝山館跡近くから発掘されたアイヌ民族の祭具
		中世の学習をふり返ろう (P94)	年表	アイヌ民族
		鎖国下の対外関係 (P120)	地図	鎖国下の窓口 アイヌ民族
		琉球王国やアイヌ民族との関係 (P122)	囲み	学習課題「江戸幕府は、琉球王国やアイヌ民族とどのような関係を持ったのでしょうか」
		琉球王国やアイヌ民族との関係 (P123)	本文	アイヌ民族との交易 蝦夷地（北海道）のアイヌ民族は、アイヌ語や、自然や動物に対する信仰など独自の文化を持ち、漁業や狩猟などで生活をしていました。
			絵	オムシャ
			囲み	琉球王国・アイヌ民族に対する江戸幕府の「窓口」はどこか、それぞれ挙げましょう。
			囲み	江戸幕府の、琉球王国との関係と、アイヌ民族との関係とのちがいを説明しましょう。
		アイヌ文化とその継承 (P140)	囲み	アイヌの人々の暮らしや文化を通じて、日本の文化の多様性について考えてみましょう。
			本文	アイヌ文化の展開 アイヌの人々の生活は、狩りや漁、採集により成り立っていました。
			絵	イオマンテの様子
		アイヌ文化とその継承 (P141)	本文	アイヌ文化を継承する動き 明治時代に入ると、新政府が北海道の開拓を進めたことで、アイヌの人々は土地や漁場をうばわれ、生活が苦しくなっていました。
			囲み	ふくろうの神の自ら歌った謡「銀のしずく降る降るまわりに」（知里幸恵「アイヌ神謡集」）
			囲み	アイヌ文化の特色と具体例を、本文や資料からまとめましょう。
			囲み	現在、アイヌ文化を受けつぐためにどのような取り組みが行われているか、調べましょう。
		近世の学習をふり返ろう (P144)	年表	アイヌ民族
		国境と領土の確定 (P178)	本文	北海道の開拓とアイヌの人々（見出し）
		国境と領土の確定 (P179)	本文	北海道の開拓とアイヌの人々 一方、開拓が進むにつれて、先住民であるアイヌの人々は土地や漁場をうばわれていきました。
			写真	樺太から北海道の江別に強制的に移住させられたアイヌの人々
			囲み	政府のアイヌ民族と琉球民族に対する対応を比べて、共通点と異なる点を挙げましょう。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	アイヌの人たちの歴史・文化等	広がる社会運動と男子普通選挙の実現 (P219)	本文	差別からの解放を求めて 北海道では、差別に苦しむアイヌ民族の解放運動も起こり、1930（昭和5）年には北海道アイヌ協会が結成され、アイヌ民族の社会的地位の向上を訴えました。
		民主化と日本国憲法 (P255)	本文	政党政治と社会運動の復活 部落解放運動が再建され、北海道アイヌ協会も新たに結成されました。
		冷戦後の日本 (P269)	年表	アイヌ文化振興法成立
		持続可能な社会に向けて (P271)	囲み	人権の発達とグローバル化 アイヌ民族差別については、1997年にアイヌ文化振興法が定められ、北海道旧土人保護法が廃止されました。
		歴史に学び、未来へと生かそう (P282)	囲み	テーマ例 人権 平和 ・差別の解消に向けた取り組み →アイヌ民族差別
			囲み	テーマ例 伝統 文化 ・先住民族の文化の継承と発展 →アイヌ文化の継承の取り組みなど
		年表(折り込み)	年表	アイヌ文化が成立する
			年表	コシヤマインの戦い
			年表	シャクシャインの戦い
			年表	アイヌ文化振興法制定
			年表	アイヌ民族を先住民族とすることを求める国会決議
		各地の主な史跡(巻末3)	地図	モシリヤ砦跡
東 書	北方領土	田沼意次の政治と寛政の改革 (P133)	地図	北方探検 国後島、択捉島
		外国船の出現と天保の改革 (P136)	地図	外国船の来航 国後島
		開国と不平等条約 (P162)	囲み	①同年にロシアとも日露和親条約を結び、下田・函館・長崎を開港することや、択捉島と得撫島の間を国境とすることなどを決めました。
		国境と領土の確定 (P178)	本文	南北の国境の確定 幕末にロシアと結んだ日露和親条約では、択捉島以南（北方領土）を日本領、得撫島以北の千島列島をロシア領とする一方、樺太（サハリン）はどちらの領土であるか不明確でした。
			地図	国境の確定 択捉島
			写真	国後島での海産物の加工
		領土をめぐる問題の背景 (P180)	囲み	竹島・尖閣諸島・北方領土は、どのような経緯で日本固有の領土になったのでしょうか。
			地図	現在の日本の領土 択捉島

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	北 方 領 土	領土をめぐる問題の背景(P181)	本文	日本人の生活の舞台・北方領土 日本人が開拓を進めた北方領土では、海産物の加工や畜産などが行われ、1945（昭和20）年の太平洋戦争の終結時には、約1万7000人の日本人が暮らしていました。
			囲み	日露和親条約 第二条 今より後日本国と魯西亜国との境「エトロフ」島と「ウルップ」島との間に在るへし
			写真	北海道の根室半島上空から見た歯舞群島
			写真	戦前の北方領土
		占領下の日本(P252)	本文	敗戦後の日本 また、北方領土は、ソ連によって不法に占拠されました。
		緊張緩和と日本外交(P261)	囲み	①このときソ連が全ての北方領土の返還に応じなかったため、平和条約を結ぶことができませんでした。
		各地の主な史跡(巻末3)	地図	歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島

様式 5

様式 4 の調査項目②「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	ア イ ヌ の 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等	私たちにつながる歴史(巻頭1)	写真	アイヌ民族の伝統的な舞踊を披露する人たち
		北と南で開かれた交易(P80)	本文	蝦夷地とアイヌ民族 蝦夷地（北海道）では、アイヌ民族が先住民として住み、古くから狩猟や漁、交易を行っていました。
		北と南で開かれた交易(P81)	本文	蝦夷地とアイヌ民族 また14世紀ごろには、津軽半島（青森県）の十三湊を拠点にした安藤氏が、アイヌの人たちとの交易を活用して勢力を伸ばしました。
			囲み	②津軽半島や下北半島をはじめ、東北地方の北部に居住するアイヌ民族もいました。
			囲み	琉球王国やアイヌの人たちが、どのように周辺地域とつながり、独自の文化を育んだのか説明しよう。
			地図	15世紀ごろの琉球王国やアイヌ民族の交易ルートと、十三湊
		中世の日本と世界(P92)	地図	中世の舞台を地図で確かめよう ⑥蝦夷地…アイヌ民族が暮らしていた。
		琉球王国・蝦夷地を通じた国際関係(P122)	囲み	学習課題「琉球王国と薩摩藩、アイヌの人たちと松前藩の関係は、どのようなものだったのでしょうか。」
		琉球王国・蝦夷地を通じた国際関係(P123)	本文	アイヌ民族と松前藩 アイヌ民族は、蝦夷地（北海道）や千島列島、樺太、中国にわたる広い地域で、狩りや漁で得た豊かな海産物や毛皮などの交易を行いながら暮らしていました。
			囲み	琉球王国と薩摩藩、アイヌの人たちと松前藩がどのような関係にあったか確かめよう。
			絵	オムシャの様子
			写真	シャクシャインの像
		繰り返される政治改革(P135)	本文	寛政の改革 このころ、ロシアの人たちがシベリアから蝦夷地に進出し、アイヌの人たちとの交易を進めていました。
		近世の日本と世界(P142)	地図	近世の舞台を地図で確かめよう ⑨松前藩…アイヌの人たちを支配した。
		近世の日本と世界(P143)	年表	近世の時代の移り変わりを確かめよう。 シャクシャインの戦い
		形づくられる日本(P176)	写真	アイヌ学校 樺太・千島交換条約により、樺太から移住させられたアイヌの子供たちのために建てられた学校です。
			囲み	北海道の命名 武四郎はアイヌの古老から「カイという言葉には、この地で生まれたものという意味がある」と教わり、その意味を地名に込めたといわれています。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	アイヌの人たちの歴史	形づくられる日本 (P177)	本文	北海道の開拓とアイヌの人たち 開拓が進むにつれて、先住民族であるアイヌの人たちは、漁や狩りの場をうばわれ、生活に困るようになりました。
			囲み	①この法律により、アイヌの人たちに農地が与えられることになりましたが、和人に与えられた土地よりも面積が小さく、農耕に適さない土地があてがわれた例も多くありました。
			囲み	政府の政策は、琉球やアイヌの人たちにどのような影響を与えたか説明しよう。
	・文化等	琉球とアイヌの文化を伝えた人たち (P184)	囲み	琉球とアイヌの文化を伝えた人たち
		琉球とアイヌの文化を伝えた人たち (P185)	本文	知里幸恵と金田一京助 アイヌ語を研究している金田一京助です。
			本文	同化政策と差別 明治維新後の政策によって、アイヌの人たちは、自分たちの伝統や文化に自信や誇りをもてなくなっていました。
			囲み	琉球やアイヌの人たちの伝統や文化は、どのような努力によって現在まで伝わっているのだろう。
			写真	知里幸恵
			絵	民族共生象徴空間（ウポポイ）
		デモクラシーのうねり (P223)	本文	社会運動の高まり 北海道では、アイヌの人たちを差別から解放しようとする運動が始まり、1930年に北海道アイヌ協会が設立されました。
		敗戦からの再出発 (P257)	本文	民主化政策の始まり （略）アイヌの人たちの社会的地位の向上を目ざす北海道アイヌ協会が再び組織されました。
		未来をひらくために (P283)	本文	平和を築くために アイヌの人たちや在日外国人、外国人労働者への差別や偏見をなくすことも同様です。
			囲み	①（略）政府に対して「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が採択されました。
	北方領土	歴史年表 (巻末 3)	年表	シャクシャインの戦いが起こる
			年表	アイヌ文化振興法成立
			年表	アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議
		各地の主な遺跡・史跡・できごと (巻末 6)	地図	モシリヤ砦跡、シャクシャインの戦い（1669）、シベチャリ砦跡、上之国勝山・花沢館跡
	北方領土	繰り返される政治改革 (P135)	本文	寛政の改革 和人の商人も蝦夷地の東部まで漁場を広げていましたが、1789年、国後地方で、約130名のアイヌの人たちが漁場での扱いを不満とし、立ち上がって抵抗しました。
		内と外の危機 (P136)	地図	幕末の北方探検と、間宮林蔵 国後島、択捉島

者	内	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	北 方 領 土	内と外の危機(P137)	地図	日本への外国船の接近 国後島を測量中のロシア人を逮捕
		たった四はいで夜も眠れず(P160)	囲み	③ロシアとの条約では、千島列島の択捉島以南を日本領、ウルップ島以北をロシア領としましたが、樺太については国境を決めませんでした。
		独立の回復(P262)	囲み	①歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方領土は、日本固有の領土であり、日本はこれまでソ連に対して返還を要求してきました。
		独立の回復(P263)	本文	独立の回復と国際社会への復帰 のちに日本は、平和条約に参加しなかった国々との国交の回復につとめ、ソ連とは、1956年に日ソ共同宣言に調印し、北方領土問題が未解決のまま、国交を回復しました。
			写真	北海道の東端から見た北方領土
		隣国と向き合うために(P268)	本文	北方領土（北海道） その後、歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方領土は、日本固有の領土として統治されました。
			写真	色丹島での海苔づくり
		隣国と向き合うために(P269)	地図	日本の領土・領海 日本の北端 択捉島 国後島、択捉島、歯舞群島、色丹島 日本がロシア連邦に返還を求めている北方領土
		各地の主な遺跡・史跡・できごと (巻末6)	地図	北方領土の問題（1945～） 歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島

様式 5

様式 4 の調査項目②〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
帝国	アイヌの人たちの歴史・文化等	表紙	写真	アイヌ古式舞踊
		ムラがまとまりクニへ (P29)	年表	北海道・南西諸島の歩み 「アイヌ文化」の時代
		琉球とアイヌの人々がつなぐ交易 (P78)	囲み	琉球とアイヌの人々がつなぐ交易
			囲み	学習課題「琉球王国やアイヌの人々は、周辺諸国とどのような関係を築いたのだろうか。」
		琉球とアイヌの人々がつなぐ交易 (P79)	本文	アイヌの人々と交易 日本列島の北端では、狩りや漁を中心とした生活が長く続いていましたが、13世紀までにはアイヌ文化が成立しました。
			囲み	北海道の独自の文化 後に擦文文化はアイヌ文化へと発展していきました。
			囲み	琉球王国とアイヌの人々が交易していた相手と交易品を、それぞれ本文から書き出してみよう。
			囲み	琉球やアイヌの人々が周辺諸国とどのような交易を行ったのか説明してみよう。
			地図	日本の北と南の交易 アイヌの人々の交易路
		学んだ事を確かめよう (P92)	年表	十三湊がアイヌの人々との交易で栄える
		大航海時代の幕開け (P99)	地図	アイヌ文化圏
		琉球王国とアイヌの人々への支配 (P118)	囲み	琉球王国とアイヌの人々への支配
			囲み	学習課題「琉球王国とアイヌの人々は、薩摩藩や松前藩とどのような関係にあっただろうか。」
		琉球王国とアイヌの人々への支配 (P119)	本文	蝦夷地への窓口 蝦夷地（北海道）の多くの土地には、アイヌの人々が暮らし、南西部の渡島半島には松前藩の和人の住む和人地がありました。
			本文	交易をめぐる衝突 松前藩の武士がアイヌの人々の住む地へ行って交易を行うようになり、品物を交換する際の比率がアイヌの人々にとって不利なものになると、松前藩への不満が高まりました。
			囲み	琉球王国と薩摩藩、アイヌの人々と松前藩の交易品を、本文からそれぞれ書き出してみよう。
			囲み	薩摩藩と琉球王国、松前藩とアイヌの人々が、それぞれどのような関係にあったか、説明してみよう。
			絵	アイヌオムシャの様子 オムシャとはアイヌ語で「あいさつ」の意味で、もともとアイヌの人々との交易の場を指していました。
			地図	1669年ごろの蝦夷地 シャクシャインの戦い
			絵	にしんの漁場で働く人々 後の松浦武四郎もこのようなアイヌの人々の姿を伝えました。
			写真	松前藩とアイヌの人々の取り引き

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
帝国	アイヌの人たちの歴史・文化等	琉球王国とアイヌの人々への支配 (P119)	写真	チャシ跡 チャシとはアイヌ語で「とりで」の意味で、鮭などを取って生活するアイヌの人々にとって重要な川や海のほとりや、丘の上などに造られました。
		琉球とアイヌの人々の暮らし (P120)	囲み	琉球とアイヌの人々の暮らし（見出し）
		琉球とアイヌの人々の暮らし (P121)	囲み	そのころの琉球とアイヌの人々の生活や文化は、どのようなものだったのかな。
			本文	アイヌの人々はどのような生活をしていたのかな？
			絵	蝦夷地の様子 アイヌの人々の暮らし
			写真	木の皮で作られたアイヌの衣服
			絵	イオマンテ
		学んだ事を確かめよう (P146)	年表	シャクシャインの戦い
		沖縄・北海道と「近代化」の波 (P181)	本文	生活を変えられたアイヌの人々 開拓が進むにつれ、アイヌの人々は狩りや漁の場を奪われました。
			囲み	松浦武四郎 幕末に蝦夷地や樺太を調査し、アイヌの人々と親しく交流しました。
			囲み	北海道の地名の由来 地名の基になったアイヌ語
			囲み	新政府が行った政策によって、琉球とアイヌの人々の生活がどのように変わったか説明してみよう。
			写真	アイヌ学校
		社会運動の高まりと普通選挙の実現 (P223)	本文	解放を求めて立ち上がる人々 また、アイヌの人々も、北海道アイヌ協会を創立し、各地域のアイヌの人々と交流し、結束しました。
		近代都市に現れた大衆文化 (P227)	本文	見直される伝承や文化 そうしたなか、沖縄固有の文化やアイヌの伝承も見直されるようになりました。
			囲み	『アイヌ神謡集』序（1923年）
		激変する日本とアジア (P281)	囲み	日本における先住民族 1946年に北海道アイヌ協会は再結成されました。
			絵	国立民族共生公園 民族共生象徴空間の愛称は、アイヌ語で「(大勢で) 歌うこと」という意味の「ウポポイ」に決定しました。
		歴史年表(折込3)	年表	「アイヌ文化」の時代
		歴史年表(折込4)	年表	蝦夷地でシャクシャインの戦い（アイヌの人々と松前藩の間で衝突）が起こる
		歴史年表(折込6)	年表	アイヌ文化振興法成立
		歴史の舞台を訪ねよう①(折込8)	地図	シブチャリ、勝山館

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
帝国	北方領土	日本を取り巻く世界情勢の変化 (P161)	地図	外国船の来航 国後島
			地図	蝦夷地の調査 国後島、択捉島
		新たな外交と国境の画定 (P179)	本文	画定する国境 北方の国境については、ロシアと開国の際に、 択捉島と得撫島の上に国境を確認していましたが、(略)。
			地図	明治初期の日本の国境と外交 択捉島
		太平洋戦争と植民地支配の変化 (P246)	地図	アジアと太平洋での戦争 択捉島
		敗戦からの出発 (P259)	囲み	②また8月28日から9月5日までの間に、樺太を占領していたソ連軍が北方領土を占領しました。
		日本の独立と世界の動き (P264)	本文	平和条約の調印と国際連合への加盟 1956年には、鳩山一郎内閣がソ連と日ソ共同宣言を調印し、北方領土問題は未解決のまま、戦争状態の終了を宣言し、国交を回復しました。
		日本の独立と世界の動き (P265)	地図	日本の戦後の国境 北方領土、択捉島、国後島、歯舞群島、色丹島
		日本の領土画定と近隣諸国 (P266)	本文	北方領土問題にはどのような経緯があったのだろうか？
			囲み	日ソ共同宣言 (略) 歯舞諸島及び色丹島を日本国に引き渡すことに同意する。
			地図	北方領土周辺の国境変遷
			写真	現在の択捉島
			写真	国後島にあった缶詰工場の作業場

様式 5

様式 4 の調査項目②〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
山川	アイヌの人たちの歴史・文化等	中世の日本 (P63)	年表	コシヤマインの蜂起
		アイヌ民族の歴史と文化 (P90)	囲み	アイヌ民族の歴史と文化
			囲み	アイヌ民族は、どのように周辺の世界とつながり、どのような文化をつくりあげていったのだろうか。
			本文	アイヌ民族の世界
			本文	十三湊の繁栄とアイヌ民族
			本文	近世のアイヌ民族
			地図	十三湊と志苔館 コシヤマインの蜂起で陥落した館
		アイヌ民族の歴史と文化 (P91)	本文	近世のアイヌ民族
			本文	アイヌの伝統文化
			絵	ソウヤの首長チョウケン
			年表	アイヌ民族（北海道）の歴史
			年表	イオマンテの様子
		江戸時代の対外関係 (P126)	囲み	②朝鮮・琉球・アイヌ民族との間には、どのような関係が築かれたのでしょうか。
			地図	日本から見た外交秩序 蝦夷（アイヌ）
		江戸時代の対外関係 (P127)	本文	朝鮮・琉球・蝦夷ヶ島 これに不満を持ったアイヌ民族は、1668（寛文9）年にシャクシャインを指導者とした戦いを起こしたが敗北し、(略)。
			絵	松前へ交易に来たアイヌ民族一行
		明治初期の対外関係 (P183)	本文	北海道開拓とアイヌ民族 先住民族であるアイヌ民族は各地で少数者となり、同化政策によって、独自の言語・文化は否定された。
			囲み	①条約にともない、樺太南部に住む樺太アイヌの一部は札幌近郊の対雁（現在の江別市）、(略)強制的に移住させられた。
		明治初期の対外関係 (P184)	本文	北海道開拓とアイヌ民族 北海道旧土人保護法により慣れない農業を強いられるなど、アイヌ民族の生活は苦しくなっていた。
			写真	アイヌ神謡集
			囲み	北海道旧土人保護法
		札幌 (P205)	本文	(略) 市の名称はアイヌ語サッポロペツ（乾く大きな川）に由来し、開拓以前のアイヌ民族の歴史をふまえた顔も見えてきます。
			囲み	北海道全体の人口の中で、アイヌ民族が圧倒的な少数者な少数者（マイノリティ）になったことと、(略)。
			表	北海道の人口、アイヌ民族の人口、札幌の人口推移

様式 4 の調査項目②〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	内	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
山 川	北 方 領 土	寛政の改革と対外的な危機 (P141)	本文	対外的な危機 蝦夷地では近藤重蔵らに択捉島の開発を命じるとともに、(略)。
			地図	北方の調査 国後島、択捉島、歯舞群島、色丹島
		内憂外患と天保の改革 (P146)	地図	列強の接近 国後島
		開国と条約締結 (P167)	囲み	②ロシアと結んだ日露和親条約では、国境について択捉島以南を日本領、(略)。
		明治初期の対外関係 (P183)	地図	明治時代初期の日本の領土 国後島、択捉島
			囲み	① (略) 北千島に住む千島アイヌは色丹島へ、強制的に移住させられた。
		日本の領土の変遷 (P266)	本文	日本政府は現在、ロシアと北方領土、韓国と竹島について、領有権問題の存在を認めている。
			本文	北方領土 蝦夷ヶ島（北海道）や千島・樺太（サハリン）方面には、(略)。
			地図	北方領土の変遷
		日本の領土の変遷 (P267)	本文	北方領土 ソ連が歯舞群島と色丹島を引きわたすとある。
			地図	日本の領土の変遷 北方領土、国後島、択捉島、歯舞群島、色丹島
		国際関係の変化と日本の外交 (P268)	本文	日ソ共同宣言 交渉は難航したが、北方四島をめぐる領土問題は未解決のまま、(略)。
			囲み	日ソ共同宣言 (略) 歯舞群島及び色丹島を日本国に引きわたすことに同意する。
		今の日本、これからの日本 (P281)	本文	現在の日本の課題 (略) ロシアとの領土問題や韓国との外交問題など、近隣との国々との関係も解決すべき重要な問題となっている。

様式 5

様式 4 の調査項目②「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
日 文	ア イ ヌ の 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等	東アジアとの交流と琉球王国の成立 (P90)	年表	14世紀～15世紀の日本と東アジアの動き コシャマインの戦いが起こる
		東アジアとの交流と琉球王国の成立 (P91)	本文	中世の琉球やアイヌ 交易が広がるにつれ、14世紀ごろにはアイヌ民族としてのまとまりが生まれました。
		とらえよう！「中世の日本と世界」 の特色 (P104)	年表	アイヌ民族や琉球
			地図	アイヌ民族のまとまり
		隣接地域との関係とアイヌ文化の成熟 (P130)	囲み	隣接地域との関係とアイヌ文化の成熟
		隣接地域との関係とアイヌ文化の成熟 (P132)	絵	イオマンテのようす
			写真	アットウシ
			写真	ルウンペ
			写真	タシロ
			囲み	国立アイヌ民族博物館
		隣接地域との関係とアイヌ文化の成熟 (P133)	本文	蝦夷地とアイヌ 松前氏は江戸時代には大名となりましたが、 (略) アイヌの人々との交易を独占する権利を あたえられました。
			本文	アイヌ文化の成熟 アイヌの人々は、和人がもたらす米や鉄製品、 蝦夷地産の毛皮を持って、樺太や千島列島へ行 き、(略)。
			年表	アイヌとの主な関係 シャクシャインの戦い
			囲み	梟の神の自ら歌った謡「銀の滴降る降るまわり に」
		領土の確定と隣接地域 (P193)	本文	北海道とアイヌの人々 (略) 先住民族のアイヌの人々は、仕事や土 地を失ったり、移住を強制されたりして、生活 に困るようになりました。
			囲み	①のちに、政府は北海道旧土人保護法を制定し、 税金のすえおきや土地の供与、アイヌ学校の設 置などの保護政策を取りました。
		社会運動の広がり (P232)	年表	社会運動の広がり 北海道アイヌ協会の結成
		社会運動の広がり (P233)	本文	差別からの解放を求めて 民族差別に苦しむ人々も立ちあがり、(略) 19 30 (昭和 5) 年には北海道アイヌ協会がつくら れました。
		敗戦直後の社会と文化 (P269)	本文	生活や権利を守る働き 差別の解消を目指す団体では、(略) 北海道ア イヌ協会も再び組織されました。
		これからの世界と日本の課題 (P291)	本文	解決をせまられる国内課題 また、性的少数者、在日韓国・朝鮮人、アイ ヌ民族、外国人労働者といったマイノリティ (少 数者) のなかには、偏見や差別になやまされて いる人がいます。
			写真	アイヌ文化の体験学習のようす

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
日 文	アイヌの人たちの歴史・文化等	冷戦終結後の近隣諸国との関係 (P292)	本文	北方領土問題 ここは北海道と同様にアイヌ民族が先住する地域でしたが、(略)。
		歴史年表(折込※4)	年表	アイヌ民族のまとまり
		歴史年表(折込V)	年表	アイヌ文化振興法の施行
		主なできごと・史跡・関係地(IX)	地図	シャクシャインの戦い(1669年)、コシヤマインの戦い(1457年)シブチャリ、国立アイヌ民族博物館
	北 方 領 土	ゆらぐ幕府の支配(P172)	地図	幕府の北方調査 国後島、択捉島、色丹島
		国際社会への復帰と55年体制(P273)	囲み	①歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島からなる北方領土問題については解決できず、(略)。
		冷戦終結後の近隣諸国との関係 (P292)	本文	北方領土問題 北方領土とは、北海道の東に位置する歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島のことをさします。
			地図	日本の領土 北方領土、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島
			囲み	日露和親(通好)条約(1855年) 第2条 今より後、日本とロシアとの境は、択捉島とウルップ島とのあいだにある。
			囲み	日ソ共同宣言(1956年) (略) 歯舞諸島および色丹島を日本国に引きわたすことに同意する。
		冷戦終結後の近隣諸国との関係 (P293)	写真	戦前の色丹小学校の運動会のようす
			地図	北方領土付近の国境の変化

様式 5

様式 4 の調査項目②〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
育 鵬 社	琉球、アイヌとアジアの交易 (P90)	囲み	琉球、アイヌとアジアの交易
	琉球、アイヌとアジアの交易 (P91)	本文	アイヌ民族の交易 蝦夷地（北海道）では、アイヌ民族が先住民 族として住み、13世紀から狩猟や漁をして生活 し、しだいにまとまりが生まれました。
		地図	15世紀ごろの琉球王国とアイヌ民族の交易ルー ト
	中世の時代をふり返って考えてみよう (P101)	本文	アイヌが独自の社会と文化を築く。
	「鎖国」の時代に開かれていた窓口 (P124)	本文	蝦夷地との交易 幕府はその南端に松前藩を置き、蝦夷地のア イヌとの交易の独占を認めていました。
		絵	オムシャ
		写真	蝦夷錦 アイヌの人々の交易によって、樺太経由で日 本にもたらされた。
	「鎖国」の時代に開かれていた窓口 (P125)	本文	蝦夷地との交易 その後、交易場所を一方的に決めたり、不当 な取り引きを行う松前藩に不満を持ったアイヌ の人々は、首長のシャクシャインを指導者とし て立ち上がり、松前藩と戦いましたが、鎮圧さ れました。
	近世の時代をふり返って考えてみよう (P153)	地図	アイヌとの交易とその支配が行われる。
	明治初期の外交と国境の画定 (P182)	本文	北方の国境と守り 一方、アイヌの人々は、開拓が進むにつれて 土地や漁場を失い、生活に困るようになり、独 自の文化も失われていきました。
北 方 領 土	日本列島・歴史の宝庫(④)	地図	シベチャリ砦跡
	欧米諸国の接近 (P140)	本文	ロシアの接近 そのため、ロシア船が樺太や択捉島に攻撃を 加えてきました。
		囲み	②1811年、幕府は国後島に上陸したロシア軍艦 艦長グローウニンを捕らえ、ロシアは海運商人 高田屋嘉兵衛を捕らえました。
	欧米諸国の接近 (P141)	地図	北方探検地図 国後島、択捉島
		地図	おもな外国船の接近 国後島
	明治初期の外交と国境の画定 (P182)	本文	北方の国境と守り 1854年（安政元）年の日露和親条約（日露通 好条約）で、択捉島から南は日本領、(略)。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
育 鵬 社	北 方 領 土	戦争の終結 (P247)	本文	日本の敗戦 ソ連軍は終戦後に千島列島に侵攻し、北方領土を不法占拠しました。
			囲み	②ソ連軍は終戦後に択捉島以南に侵攻し、ソ連がロシアになった今日にいたるまで不法占拠している（北方領土問題）
		朝鮮戦争と日本の独立回復 (P265)	本文	敗戦後の占領と再建 ソ連とは領土問題が未解決のために平和条約を結ばず、1956年に鳩山一郎内閣が日ソ共同宣言を結んで国交を回復しました。
		わが国の領土をめぐる問題の歴史 (P266)	本文	北方領土 北海道の北東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は北方領土とよび、一度も外国の領土になったことのないわが国固有の領土です。
			年表	北方領土に関する年表
		わが国の領土をめぐる問題の歴史 (P267)	本文	尖閣諸島 北方領土や竹島とちがって、わが国が実効支配（実際に統治）していて、（略）。
			囲み	北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図でその位置を確認するとともに、それぞれの歴史的経緯をノートにまとめてみましょう。
		日本の現状とこれから (P280)	本文	世界のための日本の役割 わが国固有の領土である北方領土（北海道）と竹島（島根県）は、それぞれロシアと韓国に不法占拠されたままです。
		日本列島・歴史の宝庫(巻末④)	地図	国後島、択捉島

様式 5

様式 4 の調査項目②〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
学 び 舎  の 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等	年代のあらわし方、時代の区切り方 (P9)	年表	アイヌ文化
	一つにつながるユーラシア (P69)	囲み	元を攻撃したカラフト（サハリン）のアイヌ
	アジアの海をつなぐ王国 (P81)	本文	国際貿易港・十三湊 蝦夷地（北海道）から来るアイヌの船や、近畿地方と行き来する船が港に出入りし、日本海航路の中心としてにぎわいました。
		囲み	アイヌの人びとがになう北方の交易
		写真	ラッコ アイヌはモリでとった。「ラッコ」はアイヌ語。
		地図	15世紀アジアの海上交易路 アイヌの居住地
	日本町が消える (P102)	囲み	外国やアイヌの人びととの関係はどう変わっていくのだろう
	日本町が消える (P103)	本文	海外への四つの口 （略）松前藩（北海道）を通じてアイヌと交易しました。
		地図	1630年ごろの東アジア・東南アジア アイヌの居住地
	北の海から来た昆布 (P114)	囲み	アイヌの人びとが採集した昆布は、どこへ運ばれていったか。アイヌの暮らしはどうなったか。
		本文	昆布をとるアイヌの人びと 昆布は、蝦夷地（北海道）で、アイヌの人びとが採取していました。
		本文	戦うアイヌの人びと アイヌの人びとは、長編の詩を語りついできました（ユカラ・ユーカラ）。
		囲み	エミシとエゾ 鎌倉時代以降になると、主として北海道に住む人びと（アイヌとその祖先）をエゾとよび、これも「蝦夷」と書いた。
		絵	昆布などを交易の場所（運上屋）に持ち込むアイヌの人びと
		絵	昆布をとるアイヌの人びと
		絵	アイヌの首長・イコトイ
	北の海から来た昆布 (P115)	本文	戦うアイヌの人びと 苦しい状況に追いやられたアイヌの人びとに、1669年、首長シャクシャインが、結束をよびかけました。
		囲み	交易の拡大 18世紀後半には、蝦夷地の和人商人がクナシリ島に入り、アイヌと交易し、ラッコの毛皮などを手に入れた。
	北からの黒船 (P128)	囲み	ラクスマンと大黒屋光太夫 ロシア側は、蝦夷地の地図を写し、根室周辺を測量し、アイヌと和人商人との関係を聞き取りました。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
学び舎	アイヌの人たちの歴史・文化等	第5章をふりかえる (P134)	年表	アイヌの首長（ ）らが戦いを起こす
		第5章をふりかえる (P135)	絵	昆布をとるアイヌの人びと
		北・南を組み込み、国境を引く (P176)	囲み	東京に出て日本語を学んだアイヌの人たち 1872年、琴似（札幌市）出身のマタイチ（日本名・琴似又一郎）たち35人のアイヌ（9人は女性）が、東京に向かいました。
			本文	北で蝦夷地が日本に組み込まれる ここに住んでいたのは、人口数万人といわれるアイヌの人びとです。
			囲み	アイヌの文化 1997年、「北海道旧土人保護法」は廃止され、アイヌの人びとの民族としての誇りが尊重される社会の実現を目的とするアイヌ文化振興法が成立した。
			地図	松浦武四郎がつくった蝦夷地の地図 北海道の市町村名の約8割がアイヌ語に由来している。
			写真	東京で学ぶアイヌの女性たち（1872年）
		北・南を組み込み、国境を引く (P177)	本文	北で蝦夷地が日本に組み込まれる 日本政府は、樺太のアイヌは日本人だとして、北海道に移住させました。
		9世紀～14世紀 (P284)	年表	アイヌ文化の時代 十三湊でアイヌが交易を行う
		15世紀～18世紀 (P286)	年表	アイヌ文化の時代
			年表	蝦夷地でコシャマインらが戦いを起こす
			年表	蝦夷地でシャクシャインらが戦いを起こす
			年表	蝦夷地のクナシリでアイヌが戦いを起こす
		19世紀 (P288)	年表	北海道旧土人保護法を定める
		20世紀～21世紀 (P292)	年表	アイヌ文化振興法が成立する
		歴史地図 (巻末2)	地図	シャクシャインの戦い、シベチャリ砦跡
	北方領土	北の海から来た昆布 (P115)	本文	戦うアイヌの人びと 1789年にも、クナシリなどのアイヌの人びとは、和人に対する戦いを起こしました。
			囲み	交易の拡大 18世紀後半には、蝦夷地の和人商人がクナシリ島に入り、アイヌと交易し、ラッコの毛皮などを手に入れた。
			地図	蝦夷錦と昆布の交易ルート クナシリ
		北からの黒船 (P129)	本文	毛皮を求めて太平洋へ また、ロシア人は、カムチャッカ半島から千島列島に入り、アリューシャン列島からアラスカにも上陸しました。
			地図	北方探検の行路 国後島、択捉島

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
学 び 舎	北 方 領 土	北・南を組み込み、国境を引く (P176)	地図	松浦武四郎がつくった蝦夷地の地図 エトロフ島、クナシリ島
		インドも中国も来なかった (P257)	本文	日本が独立する 1956年には日ソ共同宣言によって、北方領土問題は未解決のままソ連と国交を回復し、国連への加盟が認められました。
			囲み	北方領土問題 日本政府は、北方四島は日本固有の領土であり、(略)。
		15世紀～18世紀 (P286)	年表	蝦夷地のクナシリでアイヌが戦いを起こす
		歴史地図 (巻末 2)	地図	歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島